

外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第2期

主催：(公財)横浜市国際交流協会

■背景

市域で企業等に就業する外国人の増加に伴い、仕事に役立つ日本語の学習を希望する外国人も増加しています。また、2019年度に実施した「横浜市域における地域日本語教育の総合的推進に係る実態調査」では、外国人雇用企業から「日本語力アップのためのサポートが必要だが、事業所内だけでは難しい。」などの声がありました。そこで、外国人従業員を対象として職場や地域生活において必要な日本語や、日本人とのコミュニケーションのコツを学ぶ日本語教室を開催しました。7月～9月に第1期教室を開催し、今回は2期目の開催でしたが、しごとでよく使われる表現に加え、職場でのコミュニケーションにつながるよう、雑談でよく話されるような近況報告、休日の過ごし方などのテーマも取り上げました。

■講座の目的

- 1) 外国人従業員に対し、仕事や生活に必要な日本語、職場での円滑なコミュニケーションのコツを学ぶ機会を提供する。
- 2) 外国人従業員が地域の中で生活するための、マナーや暮らしの慣習を知る機会とする。
- 3) 教室の実施を通じて、企業や日本人従業員等と外国人との交流・相互理解を深める。
- 4) 企業と連携した日本語学習支援の可能性を検討する。

■講座の内容

- ・仕事や生活で使う日本語
- ・日本の会社のマナーや慣習
- ・横浜の暮らしの情報

参加者より

- ・日本語だけじゃなくて仕事や生活についても勉強になった。
- ・仕事でうまく状況や意見を説明できた。
- ・仕事と目上の人と話す時に役立った。

企業の担当者より

- ・日本語教育を受ける機会及び参加者同士のコミュニティができたことがよかった。
- ・取引先の人と接する機会もあり、その際に「日本語が上手ですね」と言われることもあり、本人の自信につながっている。

講座名

「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第2期

講師

一般財団法人日本国際協力センター

日時

毎週水曜日19：30～21：00
2023年11月22日～2024年2月7日（全10回）
11月22日、29日、12月6日、13日、20日
2024年1月10日、17日、24日、31日、2月7日

場所

- ・オンライン（Zoom）
- ・対面授業（横浜市国際交流協会 2月7日）

対象

横浜市内の企業に勤める外国人従業員

参加者数

16人（のべ参加者数102人）
ベトナム9人、中国3人、ミャンマー2人、
インド1人、フィリピン1人
製造業、IT、プラントエンジニアリング等6社



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第2期

オンライン 授業 第1回～第9回

日本語のレベルにより、Aグループ、Bグループの2グループに分かれて教室を行いました。指示の確認・報告や休みの連絡など、仕事の際に大切な日本語表現に加え、「仕事はどうですか」「横浜近郊でレジャーにおすすめの場所」など職場の同僚とのコミュニケーションのきっかけになるような話題についても取り上げ、会話練習を行いました。

指示の確認として「～ですね」という話し方を学んだ際には、それ以降講師の呼びかけに対して、「○ページの練習ですね」と参加者が早速話し始め、使い方もしっかりと定着していました。週1回、就業後の90分という限られた時間ではありましたが、何か疑問に思った際には都度講師に質問したり、復習用の動画教材を活用して自分で学習するなど、皆が積極的に学習に取り組んでいました。

回	内容
1	オリエンテーション 日程調整をする
2	案内メールの発信/返信
3	遅刻連絡をする
4	仕事でミスをした時の対応 ～重要な書類を紛失したとき～
5	休みの許可をとる
6	社内コミュニケーション① ～業務について～
7	業務の報告/相談をする ～期限までに間に合わないとき～
8	社内コミュニケーション② ～休日の過ごし方など～
9	意見交換 ～問題点の改善を考える～
10	発表

参加者の声

- ・教科書は生活と仕事に役立つのでよかった。
- ・もっと自信を持って話せ、日本のコミュニケーションについてもっと理解できるようになった。

Aグループカリキュラム

対面授業 第10回

最終回には対面授業を実施し、企業担当者の方々にも教室の様子を見てもらいました。Aグループでは、日本の生活での困りごとを出し、その解決策まで話し合い、意見をまとめて発表をしました。最初は話が進みづらい様子もありましたが、最後には企業の方の前で堂々と自身の意見を伝えていました。Bグループでは、上司の指示を聞いた後に内容の確認、報告まで行うロールプレイや発表スピーチを実施しました。これまで教室で何度も練習した丁寧な表現を使い、流暢に話すことができていました。

これまでオンラインで共に勉強してきた参加者同士が直接会うことができ、教室後も会話を楽しむ姿が見られました。



企業担当者の声

- ・雰囲気はとてもよいです。親切、丁寧に教えてもらった。
- ・普段は仕事以外勉強の機会がないので、日本語が勉強できて、他の方と交流できるよい機会だと思う。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

